

4年生

わくわく
チャレンジ

星ざの見える位置や向き

夏休み前（7月）に見られる夏の三角と、このごろ（9月）に見られる夏の三角では、見える位置や向きがちがいます。

このあと、夏の三角の位置や向きは、どのように変わるのでしょうか。

観察 1

星ざ早見を使って、夏の三角の位置や向きの時期によるちがいを調べよう。

- ① 7月15日の午後8時、9月15日の午後8時、11月15日の午後8時に、星ざ早見を合わせて、それぞれの時期で、夏の三角の位置と向きを調べる。



7月15日午後8時

夏の三角は、東の空にあって、アルタイルが右側にある。



9月15日午後8時

夏の三角は、頭の真上にあって、アルタイルが下側にある。



11月15日午後8時

夏の三角は、西の空にあって、アルタイルが左側にある。

観察 2

9月と11月の夏の三角をくらべよう。

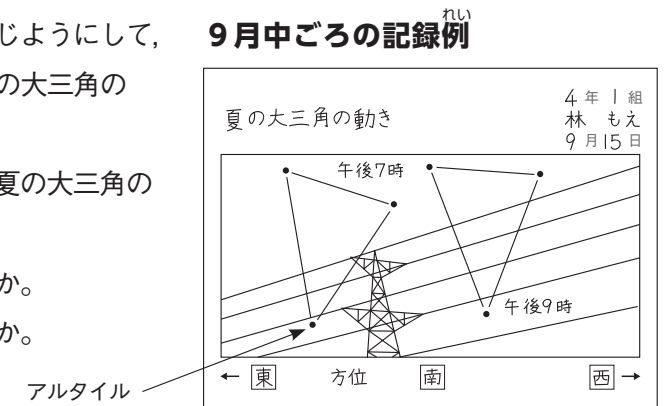
- ① 教科書87ページの観察3と同じようにして、9月中ごろの記録例

11月中ごろの午後7時に、夏の三角の位置を調べて記録する。

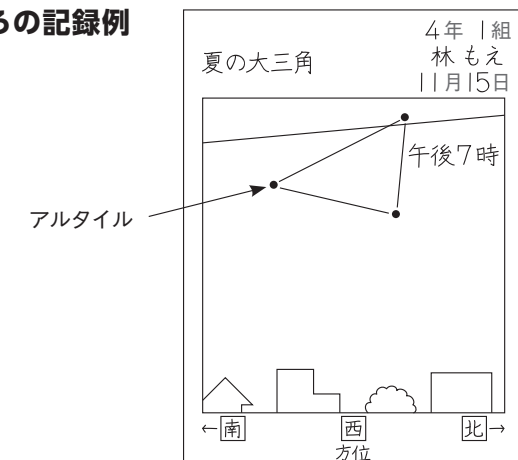
- ② 9月中ごろに観察3で調べた夏の三角の記録とくらべる。

◇ 見られる位置は、どちらがうか。

◇ 見られる向きは、どちらがうか。



11月中ごろの記録例



同じ時こくで調べると、夏の三角は、7月中ごろには、東の空にあって、アルタイルが右側にありますが、9月中ごろには、頭の真上にあって、アルタイルが下側にあります。また、11月中ごろには、西の空にあって、アルタイルが左側にあります。

このように、星ざの見える位置や向きは、同じ時こくでも、時期によって変わります。